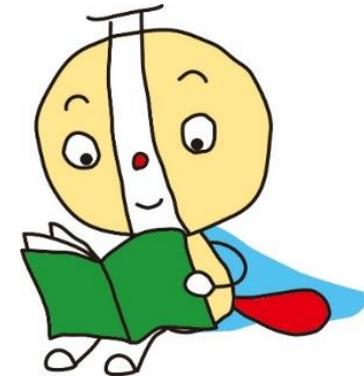


資料 1 別紙

西成区HP
「運営方針」



令和6年度 西成区運営方針（案） 【補足説明資料】



スーパーボンボコジャギー
にしなりくん

令和6年度 西成区運営方針(案)

西成区の目標（何をめざすのか）

「すべてはこどもたちのために」をキャッチフレーズに、人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちをめざす。

西成区の使命（どのような役割を担うのか）

区民の多様な意見やニーズを把握し、地域住民等との連携・協働しながら、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。

令和6年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくるため、3本柱(①子どもの夢がひろがるまち、②人と人がつながりにぎわうまち、③みんなが安心して暮らせるまち)の施策を進めていく。

経営課題における具体的取組

経営課題	主な戦略	具体的取組
【経営課題1】 子どもの夢が広がるまち	(1)子どもが健やかに成長できるようにする (2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる (3)親子が安心して暮らすことができるように支える	西成区こども生活・まなびサポート事業
		外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業
		学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業
		基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)
		西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)
		発展型学習支援事業
		プレーパーク事業
		障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業
【経営課題2】 人と人がつながりにぎわうまち	(1)住みたいまち、行ってみたいまちにする (2)地域の活動を支えてつながりをつくる (3)誰もが活躍して輝けるまちにする	西成区文化観光振興事業
		地域コミュニティ支援事業
		緑化推進事業
		西成区地域福祉計画推進事業
		西成版サービスハブ構築・運営事業
		区における人権啓発推進事業
【経営課題3】 みんなが安心して暮らせるまち	(1)大規模災害等に備えた体制をつくる (2)行政と地域住民が連携して防犯・安全対策を行う (3)あいりん地域の環境改善事例を広げていく	地域防災活動事業
		防犯対策事業
		自転車等安全利用啓発事業
		空家等対策推進事業
		あいりん地域環境整備事業(巡回・啓発等)
		結核対策事業

経営課題① 子どもの夢がひろがるまち

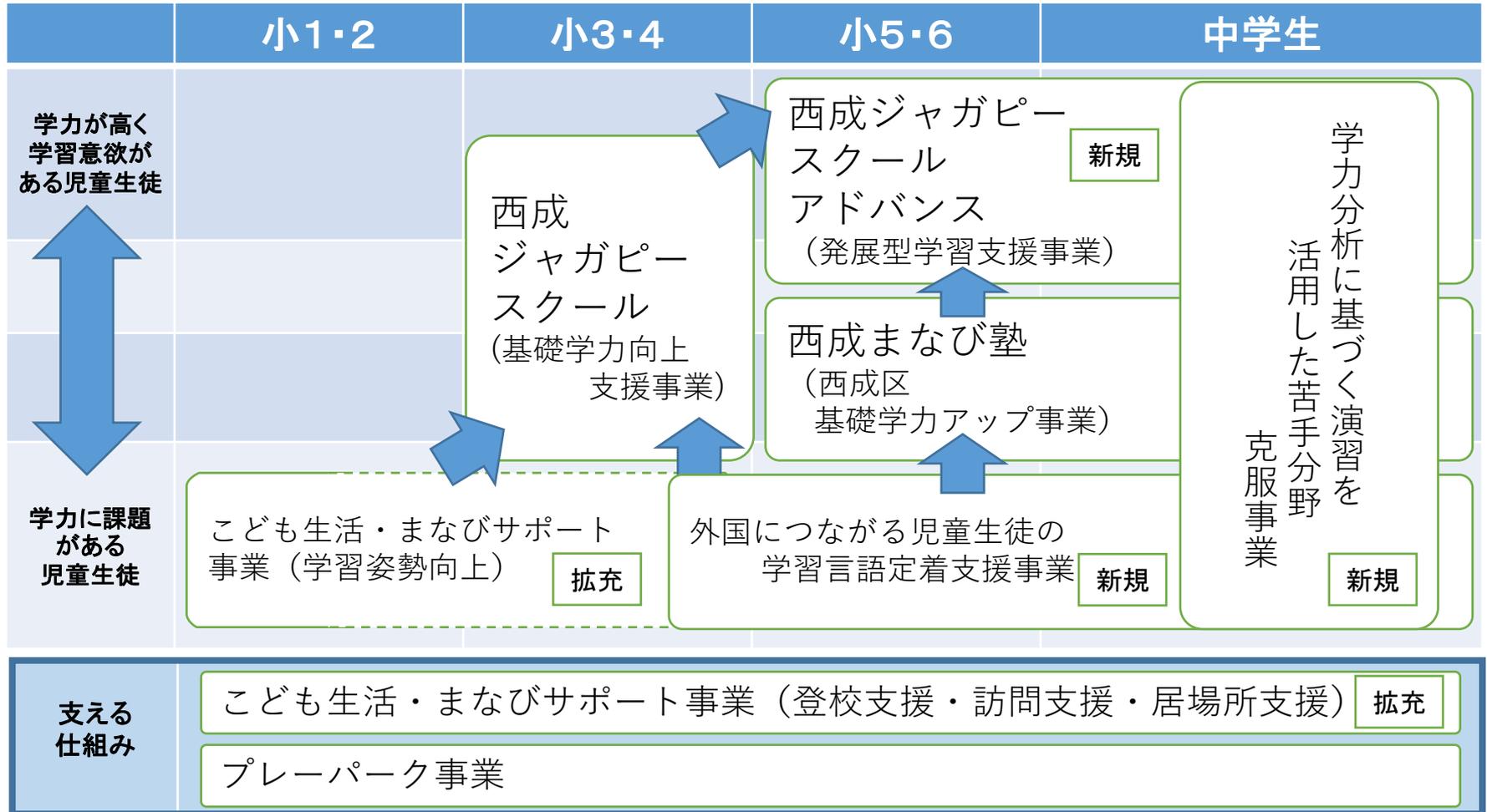
学力向上に向けた区施策イメージ「教育するなら西成」

第三期西成特区構想：人口減少に歯止めをかける。

18～25歳の若年層が流入増加も、就学前世帯（0～5歳・25～35歳）は転出超過。

⇒まちづくり（住環境）とともに、教育環境を充実し、住み続けてもらう。

◆子育て世帯の幅広いニーズに応え、「大阪市平均の学力」「不登校の実質ゼロ」の実現に向けて取り組む。



西成区こども生活・まなびサポート事業

4 決算額

63,255千円

5 予算額

82,485千円

6 予算額

147,859千円

目的

サポートが必要な児童生徒に対して、寄り添い型の支援(遅刻・不登校の対応、学習姿勢を向上させるための支援等)を行い、学びの場への定着につなげる。

令和6年度の実施内容

①学習姿勢を向上させるための支援

- ・幼稚園・保育所等と小学校のギャップから授業に集中できない児童に寄り添い支援を行い、学習に向かう姿勢の定着を図る。

②登校支援

- ・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す。

③訪問支援

- ・家から出にくい児童生徒に対して、自宅に訪問し、学習支援、相談対応などを行う。

④居場所支援

- ・学校内で教室以外に登校できる居場所(別室登校)を確保し、見守りを行う。



サポーター等の配置

①学習姿勢向上：区内全10小学校に1名ずつ計10名を配置。ボランティアも配置。

②登校支援・③訪問支援：区内16小中学校に1名ずつ計16名を配置。

④居場所支援：区内1中学校に1名を配置。

経営課題① 子どもの夢がひろがるまち

外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業

4 決算額

0千円

5 予算額

0千円

6 予算額

9,934千円

目的

日本語で日常会話はできるが、学力に課題がある児童生徒を対象に、母国の学校では教わっていない内容や、日本語習得中に授業を受けたため十分に理解できていなかった内容などの補習を行うために放課後学習を実施。

教科学習を通じた日本語指導を行うことにより、学習に使う日本語(学習言語)の定着と学力の向上につなげる。

令和6年度の実施内容

- ・対象者 西成区の小中学校に在学する小学校4年生～中学校3年生の帰国・来日等により学力に課題がある児童生徒で、日本語で日常会話ができる児童生徒。
- ・実施方法 区内の小中学校のうち2ヶ所で通所型の課外学習を実施。
- ・実施内容 児童生徒3名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行う。

経営課題① 子どもの夢がひろがるまち

学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業

4 決算額

0千円

5 予算額

0千円

6 予算額

7,533千円

目的

区内全中学校で、模擬テストを通じて、生徒個々人の苦手とする分野を分析し、また、苦手分野に応じた演習問題での反復演習をすることで、学力の向上を図る。

令和6年度の実施内容

- ・事業対象 区内中学校に在籍する中学生
- ・実施内容 5教科(国語・数学・英語・社会・理科)の模擬テストの作成、テストの採点・分析、苦手分野の反復演習用問題の作成を、事業者へ委託。
各学校では、模擬テストの実施と苦手分野の反復演習を行う。

事業の流れ

① 模擬テスト



② 採点・分析



③ 演習



学力向上



学力向上に向けた取組み

小学校3・4年生

基礎学力向上支援事業

(西成ジャガピースクール)

4決算額	7,710千円
5予算額	8,332千円
6予算額	8,332千円

目的

家庭環境に左右されることなく学習できる機会を提供し、**基礎学力の向上と学習習慣の定着**をめざす。



令和6年度取組内容

区内小学校3・4年生を対象に、平日の放課後、夏休み・冬休みに塾等の民間事業者による課外授業を実施。一人ひとりの学力に応じた指導を行う。

小学校5年生～中学校3年生

基礎学力アップ事業

(西成まなび塾)

4決算額	134千円
5予算額	251千円
6予算額	251千円

目的

西成区の教育環境を充実させるため、課外授業を行い、**基礎学力アップと居場所づくり**をめざす。



令和6年度取組内容

区内小学校5・6年生及び中学生を対象に、塾等の民間事業者による学校校舎等の公共施設を活用した課外授業を実施。習い事・塾代助成カードのみで受講可能。

小学校5年生～中学校3年生

発展型学習支援事業

(西成ジャガピースクールアドバンス)

4決算額	0千円
5予算額	0千円
6予算額	16,293千円

目的

家庭の経済状況に関わらず本人が志望する水準の高校への進学ができるように、**学習機会を提供し、更なる学力向上**をめざす。



令和6年度取組内容

区内小学校5・6年生及び中学生を対象として、塾等の民間事業者による発展的な学習内容の通所型の課外学習を実施。

経営課題① 子どもの夢がひろがるまち

プレーパーク事業

4決算額

11,522千円

5予算額

16,735千円

6予算額

17,142千円

目的

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施。

令和6年度の実施内容

子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークに加えて、子どもの興味・関心を刺激する仕掛けにより学習意欲を引き出すイベントを実施。

＜場 所＞区内もと小学校、区内公園、区内小中学校など各地域で巡回開催

＜開催期間＞令和6年4月～令和7年3月
土日祝を中心に年間72日間

開催の様子



経営課題① 子どもの夢がひろがるまち

障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業

4 決算額

5,659千円

5 予算額

7,093千円

6 予算額

7,703千円

目的

精神疾患や知的障がいがある子ども又は親を支援機関等に繋げ、また継続して繋がれるよう支援することで、虐待予防をはかる。

令和6年度の実施内容

障がいがある子ども又は親がいる世帯は社会との関わりを敬遠する傾向があることから、新規で手帳を取得した方や西成区へ転入された方など、新たに支援機関等へ繋ぐ必要がある方に対して相談対応を行う。

また支援先に繋いだ後も確実に定着していけるよう見守りを行い、孤立化を防ぎ家庭に引きこもらないように取り組む。

- ・家庭訪問及び相談支援
- ・言語聴覚士による専門相談
- ・助産師による専門的家庭訪問支援(1歳まで)
- ・子育てが難しいと感じる親や発達障がいの子を育てる親を対象に講座を開催



西成区文化観光振興事業(旧:西成区魅力発信事業)

4決算額

8,003千円

5予算額

8,311千円

6予算額

8,262千円

目的

西成区の歴史・芸術文化・観光資源を活かし、にぎわいを創出するとともに、広く情報発信することで区民の方の愛着を深め、区外の方が魅力を感じる取組みを進める。

令和6年度の取組内容

- ・大阪フィルハーモニーと連携した事業を実施
(小学校5校、中学校3校における出前授業の実施)
- ・小学生向けの職業体験等を実施
(西成区や近隣のこどもたちを対象とした体験イベントを実施)
- ・芸術文化活動を通じたにぎわい創出のイベントを開催
- ・新今宮エリアの魅力発信を実施



大阪フィルハーモニー出前授業



西成しごと博物館



新今宮ワンダーランド



経営課題② 人と人がつながりにぎわうまち

地域コミュニティ支援事業

4 決算額

51,633千円

5 予算額

63,503千円

6 予算額

64,832千円

目的

地域活動協議会の運営を支援することにより、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化等を図る。

令和6年度の実施内容

- ・地域活動協議会の自律的な組織運営に向けて、適切な組織運営及び会計にかかる支援を行う。
- ・地域活動協議会に対して補助金を交付し、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化等を目的とする事業の実施を支援する。（区内16地域活動協議会）
- ・地域活動協議会間の連携強化及び優れた事例の共有等のため、地域活動協議会で活動されている方向けのフォーラムを実施する。
- ・地域活動協議会の認知度向上に向けた取り組みとして啓発物品・チラシを作成し、区主催イベント等で配付する。



過去のフォーラムのようす

緑化推進事業

4決算額

4,442千円

5予算額

5,179千円

6予算額

5,937千円

目的

地域活動への動機付けや地域コミュニティの再生を目的に、高齢者の生きがいづくりやつながりづくりとしての地域拠点・活動場所の創出、また、地域資源の一つであるボランティアの参画・協働による地域活動として事業を実施し、うるおいのある美しいまちづくりを進めるとともに、景観の向上により不法投棄や迷惑駐輪の軽減を図るなど、住みよいまちづくりをめざす。

令和6年度の実施内容

- ・種から育てる地域の花づくり事業の実施
年2～3回地域へ出荷(年間約 55,000株)
- ・ボランティア意見交換会(年10回)
- ・ボランティア募集チラシの配布(イベント時及び花苗供給時等)
- ・花と緑の講習会の実施 年3回
- ・ボランティア養成講座の開催 年1回



区民まつりの様子



区民まつりでの植物を使った
手作り体験

西成区地域福祉計画推進事業

4 決算額	826千円	5 予算額	927千円	6 予算額	792千円
-------	-------	-------	-------	-------	-------

目的

地域で暮らす住民同士がつながりを持ち、支え合える地域づくりをめざす。

令和6年度の取組内容

- ・各地域で行われている地域活動を通じた地域支援と見守り活動
- ・要援護者名簿の活用のための取り組み(マップ作り、個別避難計画の作成)
- ・地域で孤立している人や困っている人に「気づく」→「相談する」へとつなげる行動の周知や広報活動(市営住宅等への周知、つながる場への参加依頼など)
- ・区社会福祉協議会見守り相談室と共催する、地域福祉フォーラムを年1回開催



第2期西成区地域福祉計画



ボッチャのようす



地域見守りマップ作り



過去の地域福祉フォーラムのようす

西成版サービスハブ構築・運営事業

4 決算額

25,778千円

5 予算額

35,490千円

6 予算額

38,211千円

目的

- ・就労に向けた課題をより多く抱える生活保護受給者に、就労意欲の喚起や一般就労に従事する準備としての日常生活習慣の改善を計画的かつ一貫して行う支援を実施し、就労への可能性を高めるとともに、就職、ボランティア等による社会参加を通じて再包摂を促す。
- ・第三期西成特区構想に取り組むなか、当事業においても就労や地域社会への再参加の循環を生み出すことにより「再チャレンジ」に取り組む利用者を支援し、「まちの活性化・イメージアップ」につなげていく。

令和6年度の実施内容

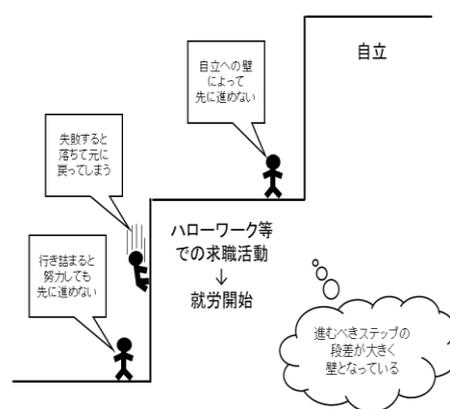
・西成区へ流入する就労困難な若年層を中心に、支援員が利用者をアセスメントし、生活訓練から就労まで一貫した伴走型支援を行う。

特に、生活面を中心とした日々の支援を強化し、その課題の克服及び利用者自身の能力の向上につなげていく。

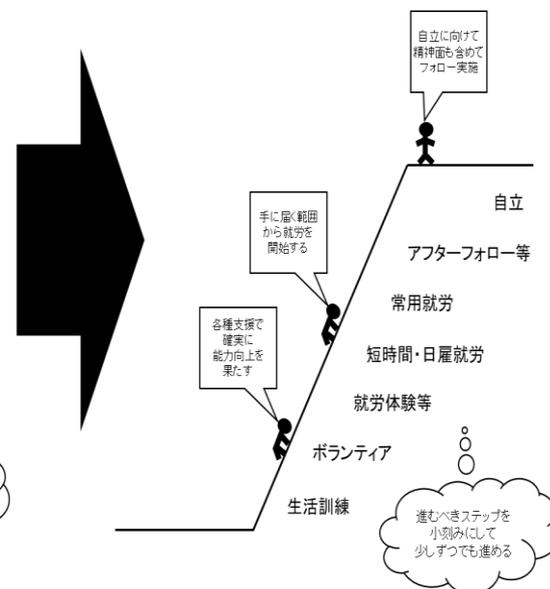
・生活面での課題を克服した利用者に対する「支援の出口」を広げ、確実に社会参加へつなげていくため、受入れ先を開拓し、提供できる就職、ボランティア等のメニューを多様化する。

(目標) 支援検討件数50件以上とする。

【従来型支援】



【サービスハブ事業】



【point】

いきなり大きな成果を求めることなく1つずつステップを刻んで、それぞれの自立へと進めて行く。

区における人権啓発推進事業

4 決算額

555千円

5 予算額

2,000千円

6 予算額

2,000千円

目的

人権問題は身近な問題であるという意識を一人ひとりが持てるよう、人権問題に対する理解と認識を深める取組みを進める。人と人の豊かな関係づくりから、人権が尊重されたまちづくりへとつなげる。

令和6年度の取組内容

人権啓発推進のための体制・環境づくり

(1) 当区の人権啓発推進事業について、地域の関係団体から意見を聞く場や人権にかかわる情報交換を行う場として、『西成区人権啓発推進会』を開催。

(2) 区における地域に根ざした人権施策の推進を図るため、大阪市から委託を受け、人権啓発事業の運営や市民に対する人権啓発に関する業務に取り組む市民ボランティア『西成区人権啓発推進員(現在34名)』との連携と、定期的な活動を実施。



多様な手法による、市民向け人権啓発

- (1) 年間を通して、及び、定期的な啓発活動
 - ◎ 区役所1階ロビー「人権啓発パネル展示」
 - ◎ 広報紙での「人権コラム」の掲載
 - ◎ 人権啓発映像ソフトの貸出
 - ◎ 憲法週間
 - ◎ 人権週間
 - 人権啓発推進員との街頭啓発、人権啓発パネル展、図書館との連携による「人権関係図書」展、啓発のぼりの設置

人権啓発パネル展示



人権相談の案内パネル

- (2) テーマ別啓発イベント・講座
 - ◎ 西成区人権を考える区民のつどい → 映画会、音楽イベント(予定)
 - ◎ 市民向け人権啓発講座「“じんけん”いろは楽習」
- (3) たくさんの方が集まる場での啓発活動
 - ◎ 区民まつり、体育レクリエーション大会、生涯学習フェスティバル

経営課題③ みんなが安心して暮らせるまち

地域防災活動事業

4 決算額

5,862千円

5 予算額

7,961千円

6 予算額

8,523千円

目的

巨大地震等の大規模災害の発生が懸念されている中、災害発生時に重要な「自助・共助」の意識の醸成を図る。

令和6年度の実施内容

- ・地域コミュニティにおける共助意識の醸成及び地域防災力の向上を図るため、区内各地域にて、地域防災訓練を実施。
- ・区民一人一人の自助・共助意識を醸成させるため、小中学校の土曜授業や出前講座を実施。



地域防災訓練
避難訓練



小学校土曜授業
起震車体験



防災出前講座

防犯対策事業

4 決算額

1,875千円

5 予算額

3,952千円

6 予算額

2,163千円

目的

警察、行政と地域住民が連携して防犯対策の取り組みを進めることで、地域住民の防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の少ない「安全で安心して暮らせるまち」をめざす。

令和6年度の実施内容

- ・防犯カメラ設置補助(8台)随時 ・自主防犯活動支援(随時)
- ・青色防犯パトロールカー及び自転車による巡回(随時)
- ・遠足等の随行警備(随時) ・特殊詐欺対策用自動通話録音機器の貸与
- ・防犯啓発キャンペーンの実施(ひったくり防止カバー取付)
- ・特殊詐欺防止啓発活動 ・小学校、幼稚園等での防犯教室の開催(随時)



小学校の防犯・交通安全教室



特殊詐欺被害防止啓発活動

自転車等安全利用啓発事業

4決算額

2,784千円

5予算額

4,380千円

6予算額

4,394千円

目的

交通安全に関する意識を養うことにより、区民の交通ルールの順守とマナーアップを図る。特に、自転車利用適正化に重点を置き、区内の主要駅(天下茶屋駅、花園町駅、岸里駅)周辺における放置自転車問題を地域課題として区民が主体的かつ継続的に対策に取り組む体制を構築することを目的とする。

令和6年度の実施内容

- ・交通安全区民大会実施(4・9月) ・交通安全運動等での啓発活動(随時)
- ・めいわく駐車・駐輪追放キャンペーン ・放置自転車啓発指導員の配置
- ・自転車対策連絡協議会による放置自転車合同啓発 ・広報紙等への自転車特集



連絡協議会による放置自転車合同啓発



全国交通安全運動 西成区民大会

空家等対策推進事業

4決算額

460千円

5予算額

814千円

6予算額

814千円

目的

「大阪市空家等対策計画」第2期に基づき、特定空家等の総数抑制、官民連携の成果の蓄積を方向性とし、喫緊の課題である特定空家等の是正、空家の適正管理や利活用の促進等を総合的に行い、地域の活性化等につなげていく。

令和6年度の実施内容

- ・是正に向けた助言、指導の実施(所有者が判明した物件全件)
- ・広報紙、ホームページでの空家の適切な維持管理等に関する啓発の実施
- ・空家の管理、活用に関するセミナーの開催
- ・権利関係の整理の重要性や除却補助制度等の広報(専門家による不動産相談:毎月実施)
- ・専門家団体等との官民連携体制やネットワークの活用



空家の管理、活用に関するセミナーの開催



是正前



是正後

経営課題③ みんなが安心して暮らせるまち

あいりん地域環境整備事業(巡回・啓発等)

4 決算額

99,559千円

5 予算額

103,120千円

6 予算額

104,120千円

目的

あいりん地域を中心に、不法投棄や迷惑駐輪などの対策に取り組み、公有地を清掃することで、生活環境を改善し、多くの住民が安心して暮らすことが出来ていると感じる状態を実現し、西成区のイメージアップに寄与する。

令和6年度の実施内容

- ・あいりん地域を中心に西成区全域で、不法投棄対策として、家庭ごみの排出ルールへの周知啓発などを実施する。また、道路、公園といった公有地を清掃する。
- ・あいりん地域で自転車置場を運営し利用を促進する。長期放置自転車の撤去などの対策を進める。
- ・西成区内の公園にあるテント・小屋掛けなどの平和的解決をめざす。本事業により発生する就労を、就労支援を必要とする方々への中間就労の機会として提供する。

地域による防犯カメラの設置
(イメージ)



あいりん地域の夜間巡回

美化啓発拠点の運営



不法投棄の防止措置 (例)



多言語の不法投棄禁止看板の掲出

不法投棄禁止
No illegal dumping!
禁止非法丢弃
Cấm đổ rác trái phép

この場所に物を置き去ることは不法投棄である。
It is illegal to dump things in this area.
この場所は、常時巡回、防犯カメラで監視している。
This area is constantly patrolled and monitored by security cameras.
この場所禁止以下の取扱いを旨は、大阪府環境保健推進センターまでお問合せください。
For illegal dumping, please report it to the police immediately! Nearest Police Station 06-6548-1234.
西成警察署 TEL 06-6648-1234

多言語のゴミ出しマナーのちらしの製作・地域配付

多言語のゴミ出しマナーのちらし

火・金曜日
月曜日
木曜日
木曜日

経営課題③ みんなが安心して暮らせるまち

結核対策事業

4 決算額

38,745千円

5 予算額

56,856千円

6 予算額

64,446千円

目的

西成特区構想の短期集中的施策として実施してきたあいりん地域を中心とした結核対策事業が、一定の成果をあげていることから、さらなる結核患者数・罹患率の減少に向けてあいりん地域はもとより区全体で取り組みを強化していく。

令和6年度の実施内容

- ・区役所、委託医療機関、検診車による結核健診を実施。
- ・あいりん地域での分館・検診車による結核健診及びDOTS事業の実施。
- ・あいりん地域での居所のない患者への療養支援事業の実施。
- ・結核健診受診勧奨の強化。



←地域結核健診

あいりん結核健診→

